令和２年度
船橋の台所事情

船橋市の予算を
わかりやすく説明します

船橋市

もくじ

予算の基礎知識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

一般会計歳出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

一般会計歳入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

市民生活に身近な予算の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

船橋市の家計簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

船橋市の財政状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

令和２年度予算の主要事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

予算の基礎知識

「予算」とはなに？

１年間のお金の使い道、それが予算です。

市では、お金の使い道を毎年４月から翌年の３月までの年度単位で考えます。

この１年間に市に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内で市が行っているいろいろな仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）にどのくらいのお金を使うかという支出の計画を立てます。これを「予算」といい、市の仕事は、この予算に従って行われます。

予算はどのように決めるの？

収入

市民の皆さんに納めていただく税金、公民館やスポーツ施設などの使用料、国や県からの補助金などがどのくらい入ってくるのかという見積もりをします。

支出

日頃、市民の皆さんから寄せられる意見や要望も取り入れながら、次年度の仕事の予定を立て、その仕事に必要な金額を見積もります。見積もった収入ですべての仕事ができればいいのですが、とても収入の範囲には収まりません。

そこで、市民生活を守るために緊急性や必要性が高いかどうか検討し、優先度が高いと判断したものについて、後期基本計画との整合を図りながら次年度に行う仕事を決め、予算案を作成します。

お金の使い道を決めることはとても大切なので、市民の代表で構成される市議会で審議してもらい、議決を受けてはじめて予算が決まります。

市役所の作業	予算編成方針	8月
	予算要求	10月
	市長査定	1月下旬
	予算案提出	
市議会の審議	予算案審議	2月下旬
	議　決	
	当初予算成立	3月下旬

決まった予算は変えられないの？

４月から翌年の３月までの１年間の予算は、３月に市議会での議決を受けて決まります。これを「当初予算」と言います。

しかし、年度の途中で国が新たな制度を作ったり、台風などの災害が起こったり、社会情勢の変化や想定できなかったことが生じることもあります。

年度の途中でも、その変化や想定外のことに対応するために、追加の予算を作ります。これを「補正予算」と言います。補正予算も当初予算と同じく市議会の議決を受けて決まります。

予算の規模と会計の仕組み

一般会計

市の基本的な仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）を行うための会計です。
一般的に市の予算と言えば「一般会計」をさし、市税を主な財源としています。
令和２年度の予算規模は、2116億8500万円で前年度比0.2%減となりました。行財政改革集中取組期間の２年目として、前年度を下回ったものの、平成28年度、令和元年度に次ぐ予算規模となりました。

特別会計

特定の収入（国民健康保険料、介護保険料など）がある、特定の目的のための予算を経理する会計を「特別会計」と言います。
お金の出し入れをわかりやすくするために一般会計と財布を分けて管理します。

区分		令和2年度予算額
特別会計	国民健康保険事業	５０７億８５００万円
	公共用地先行取得事業	４億　８００万円
	船橋駅南口市街地再開発事業	１３億　４００万円
	介護保険事業	４５９億６４００万円
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	９０００万円
	後期高齢者医療事業	８２億１１００万円
	計	１０６７億６２００万円

公営企業会計

市が企業的性格を持った事業（市場、病院、下水道）を経営するための予算を経理する会計を「公営企業会計」と言います。事業の収入を主な財源としています。
特別会計と同様にお金の出し入れをわかりやすくするために、一般会計や特別会計と財布を分けて管理します。

区分		令和2年度予算額
公営企業会計	地方卸売市場事業	１１億２３００万円
	病院事業	２１６億９１００万円
	下水道事業	３８５億７９２１万円
	計	６１３億９３２１万円

一般会計歳出

市の支出にはどんなものがあるの？

目的別経費による内訳

市の歳出（１年間の市の支出）を経費の目的に着目して分類すると、下のグラフのようになります。

性質別経費による内訳

市の歳出を経費の性質に着目して分類すると、下のグラフのようになります。

義務的経費・投資的経費とは…

義務的経費・・・法令などにより支払いが義務付けられていて、減らすことが難しい経費
投資的経費・・・道路、橋、公園、学校などの建設や大規模な修繕などの経費

性質別経費の推移

予算額を10年前と比較すると歳出全体で512億円も増えています。義務的経費である扶助費は保育所にかかる経費や生活保護費などの社会保障経費の増加により、10年前に比べ約1.5倍（約203億円増）になっています。

一般会計　歳出予算額の推移（性質別）

一般会計歳入

市の収入にはどんなものがあるの？

市の歳入（１年間の市の収入）のうち、最も大きいものは「市税」です。また、国や県からもらう「国庫支出金」や「県支出金」、借入金である「市債」などがあります。

これらの収入は、使い道が自由な「一般財源」と使い道が決められている「特定財源」に分けられます。

一般財源は、市が受け取る時点で使い道があらかじめ決まっていないお金のことで、市税や地方交付税などです。

特定財源は、市が受け取る時点で使い道が決まっているお金のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金や、公共施設の改修工事などに使うため、国や銀行から借りる市債などです。

市民の皆さんの様々なニーズにお応えする仕事を行うためには、使い道を自由に決めることができる「一般財源」の確保が重要です。

市税の概要

市税は、市の歳入の約半分を占めています。その内訳は、「個人市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。市税の中では、景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから比較的変動の少ない歳入構造が本市の特徴です。

市税の内訳

個人市民税	市民の皆さんに納めていただく税金
法人市民税	市内に事業所等がある法人に納めていただく税金
固定資産税	土地・家屋・償却資産（事業用の機械など）にかかる税金
軽自動車税	軽自動車や原付バイクなどにかかる税金
市たばこ税	たばこの製造業者などが市内の小売販売者に売り渡した「たばこ」にかかる税金
事 業 所 税	都市環境の整備等の費用に充てるため事業所等に納めていただく税金
都市計画税	下水道・道路などを整備する都市計画事業の費用に充てるための税金

市民生活に身近な予算の内訳

皆さんが納める税金や国や県からの補助金がどんな事業にどのくらい使われているかを市民生活に身近な予算を例に紹介します。

①ごみの収集・処理にかかる予算

ごみの収集や焼却にかかる人件費や清掃工場の運営費などで年間62億円かかります。
世帯数292,392世帯（２年４月現在）
1世帯あたりにすると年額21,361円です。

②消防・救急にかかる予算

消防活動や救急活動にかかる人件費や消防車両の維持費などで年間61億円かかります。
人口640,695人（２年４月現在）
市民1人あたりにすると年額9,448円です。

③保育所の管理運営にかかる予算

認可保育所の管理運営にかかる人件費や施設の維持費などで年間196億円かかります。
入所児童数11,722人（２年４月現在）
入所児童1人あたりにすると年額1,673,958円です。

④公園の整備・維持管理にかかる予算

公園の整備や維持管理にかかる費用などで年間25億円かかります。
人口640,695人（２年４月現在）
市民1人あたりにすると年額3,880円です。

⑤介護保険サービスにかかる予算

介護サービス・介護予防の実施等にかかる費用などで年間460億円かかります。
要介護・要支援認定者数28,501人（２年４月現在）
対象者1人あたりにすると年額1,612,715円

船橋市の家計簿

市の予算額（一般会計）は、2116億8500万円と非常に大きいため、額を縮小して市の予算を家計簿に置き換えてみました。給与年収440万円（※）（給与月収36万7000円）であらわしてみました。

毎月の収入

給　　与　３６７，０００円

（うち基本給〈市税〉２２１，０００円）
（うち諸手当〈地方譲与税、地方消費税交付金、国・県支出金など〉１４６，０００円）

家賃収入　４４，０００円

分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入など

親からの仕送り　７，０００円

地方交付税

家の増改築等のローン(借金)

市債　３９，０００円
（うち臨時財政対策債：１１，０００円）

合　　計　４５７，０００円

毎月の支出

食　　費　８４，０００円

人件費

医療費など　１２８，０００円

扶助費

光熱水費や電話代などの生活費

物件費、補助費等、維持補修費など
１３０，０００円

子どもへの仕送り　３９，０００円

他会計への繰出金

家の増改築費　３９，０００円

普通建設事業

ローンの返済(借金)　３７，０００円

公債費

合　　計　４５７，０００円

※年収440万円は、国税庁が調査した平成30年分民間給与実態統計調査の平均給与額

船橋市の財政状況

市の貯金、借金などの状況や、市の財政が健全化を図る指標を他市との比較を交え説明します。

船橋の財政状況はいいの？

夕張市の財政破綻をきっかけに、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的として、平成19年に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定されました。

自治体財政の早期健全化や再生の必要性を判断する「健全化判断比率」として、４つの財政指標があります。

これらの指標のうち１つでも国が定めた基準（早期健全化基準）以上の数値になった場合には、財政健全化計画を策定しなければなりませんが、船橋市は現在のところ、いずれの指標もこの基準を下回っています。このうち特に大切な２つの指標を説明します。

健全化判断比率　（平成30年度決算　単位：％）

指標	船橋市	中核市平均	早期健全化基準
実質公債費比率	0.0	6.2	25.0
将来負担比率	15.7	47.1	350.0
実質赤字比率	-	-	11.25
連結実質赤字比率	-	-	16.25

実質公債費比率と将来負担比率における他の中核市との比較（平成30年度決算）

実質公債費比率

収入に対する公債費の占める割合で、数字が小さいほどその年度の借金返済額が少ないということです。平成30年度決算では0.0%となっており、県内54市町村中最も小さく、全国の中核市58市中でも４番目の小ささです。

将来負担比率

市の実質的な借金が歳入の何年分かを示したもので、数字が小さいほど将来負担が少ないことを示しています。平成21年度から平成28年度決算までは将来負担すべき負債を貯金などで十分返済可能であったため、「－」で表示していましたが、借金の総額が徐々に増えてきたことなどにより平成30年度決算では15.7%となりました。

中核市平均や早期健全化基準と比べまだまだ小さい数値となっていますが、今後数値が増加していくことも見込まれているため、推移に注視しながらの財政運営が必要となってきます。

なぜお金を借りるの？

「借金は少ない方が良い」と考えるのは当然ですが、学校や公園などの公共施設の整備には多額の費用が必要です。これらの費用を１年間の予算だけで賄ってしまったら、その１年は他の仕事ができなくなってしまいます。

また、学校や公園などは長い期間たくさんの市民が使いますが、１年間の予算で整備してしまうと、将来の市民は整備費用の負担なしに施設を利用できることになります。

そこで、「市債」という借金をして、１年間の整備費用の負担を小さくし、何年にもわたり返済することで、施設を利用するすべての世代の市民に整備費用を公平に負担してもらうことができます。

市債(借金)を活用しないと・・・公共施設を整備する年度の市民が全額負担し、将来の市民は負担なし

市債(借金)をして・・・将来の市民も整備費用を公平に負担します

今までいくら借りて、何に使ってきたの？

市債の残高は、平成30年度末に、一般会計で1801億円、全会計で3263億円となっています。その使い道は、学校や道路、公園、下水道、医療センターといった施設の整備や改修が中心です。近年は、小・中学校等の公共施設の耐震化などに多く使われています。また、「臨時財政対策債」の残高が大きくなっています。

平成30年度末現在　市債残高

- **総務債**……出張所、防災施設の整備、東葉高速鉄道への出資など
- **民生債**……障害者・老人・児童福祉施設、保育所の整備など
- **衛生債**……清掃工場、保健福祉センターの整備など
- **土木債**……道路、公園、橋りょう、河川の整備など
- **教育債**……小・中学校、高等学校、公民館の整備など
- **臨時財政対策債**…国が地方に交付する地方交付税の一部について、市が代わりに借金するもの。返済にかかる費用は将来の地方交付税に加算されて交付されます。

近年、市債の残高が増えているけれど？

平成30年度末の市債残高は1813億円（※普通会計）で、人口１人あたりの金額は283,531円となります。これは全国の中核市58市（平均390,524円）の中では14番目に少ない額となります。

しかしながら、近年、市債の残高が増えています。これは、前ページでも述べたとおり、東日本大震災以降、小・中学校をはじめ公共施設の耐震化のための建替えや補強工事に力を入れてきたため、その財源として市債の発行が大きく増えたことによるものです。

普通会計ってなに？

全国の自治体の予算の作り方をみると、介護サービス事業や区画整理事業などを一般会計で行ったり、特別会計や企業会計で行ったりとバラバラな部分があります。

そこで、自治体間で比較できるようにした統一的な基準となる会計区分を「普通会計」と言います。

返済は大丈夫なの？

市債の償還金を「公債費」といい、市税などの一般財源で返済しています。

平成30年度の公債費の決算額は132億円（普通会計）で、人口１人あたりの金額は20,715円となります。これは全国の中核市58市（平均39,327円）の中では２番目に少ない額となっています。

しかし、今後も、公共施設の老朽化や長寿命化への対応を行う必要があることから、市債を発行しなければなりません。近年、市債残高が増え続けており、将来、公債費が180億円近い水準となることが予想されています。

今後は、建設事業の実施を必要性に応じて厳選するなど、将来の返済の負担が大きくなりすぎないよう努めていかなければなりません。

●減債基金への積み立て

将来、公債費が増加したときに備え、平成30年度末までに約48億円を減債基金に積み立てました。減債基金とは、公債費の支払いにだけ使える貯金です。そして、公債費が増加したときに取り崩す（引き出す）ことで、公債費が大きな負担とならないようにします。

貯金はあるの？

市には、急激な収入の落ち込みや、災害復旧などの想定外の支出、また今後見込まれる公共施設の老朽化や少子高齢化社会への対応等に備えるための貯金があります。これを「財源調整基金」と言い、毎年、決算の時に余ったお金（剰余金）等から積み立てています。

基金残高の推移

財政状況の比較は「中核市同士」で

同じ自治体と言っても、村や町から人口が100万人を超える市まで様々です。自治体により必要とされる行政サービスが異なります。

また、政令指定都市や中核市は、都道府県の行う仕事の一部を行っているため、普通の市と比べると行っている仕事や必要となる財源が大きく異なります。そのため、財政状況を他市と比較するときには、同じ中核市同士で比較します。

その他の貯金はどのようなものがあるの？

財源調整基金の他にも、特定の目的のために使用する貯金（特定目的基金）や一定額の貯金そのものを原資として貸付等の事業を行うための貯金（定額運用基金）があります。

	基金の名称	目　　的
特定目的	職員退職手当基金	退職手当の財源に充てるため
	減債基金	市債の償還に必要な財源を確保するため
	公園緑地整備基金	公園の整備、緑の保全、緑化の推進を図るため
	福祉基金	地域福祉の増進に資するため
	一般廃棄物処理施設等整備基金	施設の整備に必要な資金を積み立てるため
	文化振興基金	文化の振興に資するため
	森林環境譲与税基金	森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため
定額運用	高額療養費貸付基金	高額療養費の貸し付けのため
	文化芸術ホール事業基金	自主事業を円滑かつ効率的に行うため

船橋市の貯金額はどれくらい？

中核市で比較すると、本市の基金一人あたりの貯金は少ない方です。

財源調整基金では・・・
船橋市１人あたり1.8万円
中核市１人あたり2.3万円
船橋市**３９位**／５８市中

全基金では・・・
船橋市１人あたり3.1万円
中核市１人あたり6.0万円
船橋市**４７位**／５８市中

令和２年度予算の主要事業

令和２年度の予算は、市の抱える諸課題を重点的かつ計画的に解決するため、「後期基本計画※」の「めざすまちの姿」で示す６つの取り組みを着実に実施するとともに、施策を進めるうえで重点としている「子どもたちの未来につながる施策の推進」、「船橋の持つ力をさらに伸ばすこと」、「一体感を育むまちづくりの推進」を念頭に置き、「人と人をつなぐこと」を基本的な柱として予算配分を行いました。

ここでは令和２年度予算に計上した主要事業を６つの「めざすまちの姿」ごとにご紹介します。

※市政運営を総合的かつ計画的に進めていくために「基本計画」があります。特に平成24年度から令和２年度までの９年間の計画を「後期基本計画」と呼んでいます。

○非常時への備えのあるまち

・排水機場の整備（３億１６２２万円）

河川の氾濫や低地の浸水を防ぐ排水ポンプが確実に稼働するよう、老朽化した施設を計画的に整備します。令和２年度については、栄第一排水機場及び西浦排水機場のポンプ更新工事等を行います。

・超急性期における災害医療体制の見直し（３６１１万円）

超急性期における本市の災害医療体制のあり方を見直し、これまで小学校等に設置することとしていた救護所を、平時の二次救急医療を担っている災害医療協力病院９箇所に設置する体制へ移行するため、災害時に病院前救護所で必要となる備品及び医薬品等を確保します。また、本体制の実効性を確保するための訓練を実施していきます。

○安心して暮らせるまち

・予防接種費用の助成（１７億８１４１万円）

予防接種法に基づく定期予防接種及び任意予防接種を実施します。令和２年１０月１日から定期接種化される胃腸炎の重症化を防ぐロタウイルスワクチンについて、定期接種の対象となる令和２年８月以降に生まれた子に加え、定期接種の対象者と同学年の令和２年７月以前に生まれた子が任意に接種する場合に係る費用の全部を助成します。

また、小児期の難聴対策として、令和２年４月２日以降に１歳になる子を対象におたふくかぜワクチンの任意予防接種に係る費用の全部または一部を助成します。

・介護サービスに従事する人材の確保（１２２２万円）

介護サービスに従事する人材を確保するため、市内事業者が新たに資格を有する職員を雇用し、市内の借り上げ宿舎に住まわせた場合に、宿舎の借り上げに係る費用の一部を助成します。

また、外国人介護人材の受け入れを検討している市内介護サービス事業者に対し、その導入が円滑に進むよう制度等の説明会を開催します。

・障害福祉サービスに従事する人材の確保（３００万円）

障害福祉サービスに従事する人材を確保するため、介護職員初任者研修又は実務者研修を修了し、市内の障害福祉サービス事業所に就業する方に対し、受講料等を助成します。

○未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち

・下水処理場におけるバイオマスエネルギーの利活用（１８億円）

バイオマスエネルギーの利活用に向け、西浦下水処理場に続き、高瀬下水処理場において、消化ガスを燃料とした発電事業を令和４年度に開始するため、消化槽の整備を行います。

・新南部清掃工場の稼働（６億３７７３万円）

平成28年度から建て替えを進めていた南部清掃工場が、令和２年４月より稼働しました。

○笑顔があふれる子育てのまち

・保育の充実に向けた保育所等の整備の促進（６億５９００万円）

待機児童の多い地域に保育所等の整備を促進するため、認可保育所及び小規模保育事業の施設整備に必要な整備費の一部を助成し、保育の充実を図ります。

・ひとり親家庭等への支援（５０５万円）

ひとり親家庭等の就業促進を図るため、就職準備等に関するセミナーやパソコン技能習得講習会を開催するとともに、新たに、就業の促進に繋げるための資格取得講習会を開催します。また、ひとり親家庭等の生活向上のため、家計管理等に関する講習会の開催に加え、新たに、ひとり親同士が交流を図れる情報交換事業及び親子交流キャンプ事業を実施します。

○人が集まる元気なまち

・ＪＲ南船橋駅南口市有地の活用（９７７２万円）

臨海部の玄関口及び回遊性創出の拠点としてふさわしいまちづくりに向けて、必要なインフラ（道路、駅前広場、電線共同溝、下水道）の設計を行います。

○市民に愛され、育まれるまち

・取掛西貝塚の保存・整備（２０１４万円）

全国的にも貴重な約１万年前の遺跡である取掛西貝塚について、令和３年度中の国史跡指定を目指し、学術調査成果の整理・分析・研究を行い、総括報告書を刊行します。

○その他の取組　市民サービスの向上

・パスポート発給事業（９２４５万円）

千葉県より旅券事務の権限移譲を受け、パスポートの申請及び交付が可能なパスポートセンターを船橋駅前総合窓口センター内に令和３年２月から開設します。

・ペイジー収納及びネット口座振替受付サービスの導入（２００６万円）

市民の利便性及び収納率の向上を図るため、パソコンやスマートフォンから利用できる市税のペイジー収納及びネット口座振替受付サービスを導入します。

市では、（公益）千葉県市町村振興協会から「サマージャンボ宝くじ」と「ハロウィンジャンボ宝くじ」の収益金の配分を受けています。

宝くじの収益金は、都道府県別の販売実績額などによって配分されるので、購入は、千葉県内の宝くじ売り場で!!

船橋市

船橋市の財政に関する詳しい情報は市のホームページでもご覧いただけます。
アドレス　https://www.city.funabashi.lg.jp/

トップページ ➡ 市政・市の紹介 ➡ 財政（予算・決算）

令和２年6月

発行／船橋市　　編集／企画財政部財政課　　０４７－４３６－２１５２